

この添付文書は、お薬とともに保管し、
服用の際には、必ずお読み下さい。

【漢方薬】

ホノミ[®]チンガイン錠

第2類医薬品

◆ ホノミチンガイン錠は、傷寒論^{しょうかんろん}や金匱要略^{きんぎようりやく}という書物に書かれている処方を基本にした漢方薬の錠剤です。

⚠ 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
 - 胃腸の弱い人。
 - 発汗傾向の著しい人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること
 - 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	せきを伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。

- 1ヵ月位(鼻水、うすい水様のたんを伴う咳に服用する場合には5～6日間)服用しても症状がよくなる場合
- 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談すること

効能・効果

気管支炎、気管支ぜんそく、鼻水、うすい水様のたんを伴う咳、鼻炎

用法・用量

次の量を食間^{注)}に、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

注)「食間」とは食後2～3時間を指します。

年 齢	1回量	1日服用回数
大 人	6錠	3回
7歳以上15歳未満	4錠	
5歳以上 7歳未満	3錠	
5歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分・分量

本剤18錠(3.6g)中

カ ン ゾ ウ	1.50g	} 小青竜湯水製エキス……1.800g
ケ イ ヒ	1.50g	
ゴ ミ シ	1.50g	
サ イ シ ン	1.50g	
シャクヤク	1.50g	
ハ ン ゲ	3.00g	
マ オ ウ	1.50g	
カ ン キ ョ ウ	1.50g	

添加物としてカルメロースカルシウム、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、乳糖、メタケイ酸アルミン酸マグネシウムを含有する。

- ・本剤は淡灰褐色で、特異なおいを有し、味は初め酸味があり後わずかに甘く苦い素錠です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調の異なることがありますが、効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 分包品において1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。

ホノミチンガイン錠は生薬の特性を活かした漢方薬ですので、あなたの体質や病状を考えて正しく服用することが大切です。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、漢方薬のことをご理解いただいている医師・薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剤盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元



剤盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田515番地1